

新規・継続等	新規	分野	砂防施設整備			事業番号	8	事業名	砂防(通常砂防)				
市町村名	中野市		ふりがな箇所名	ひがしんかわ 東新川		あやかわ 親川		事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~ H25 年度				
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工程など)	堰堤工 1基 渓流保全工 L=500m						H22年度事業進捗率	0.0 %				
	H23年度以降実施内容	同上						本工事費等ベース	0.0 %				
	H23年度実施内容	渓流保全工 L=100m						用地補償費ベース	0.0 %				
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残			
財源内訳	事業費計(千円)	260,000		0		0		100,000		260,000			
	国庫支出金	130,000		0		0		50,000		130,000			
	その他									0			
	県債	117,000		0		0		45,000		117,000			
	一般財源	13,000		0		0		5,000		13,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部	政策評価課			
								ランク	評価	ランク	評価		
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1~9戸		0戸		B	5	B	5
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所		なし			5		5
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設有り			一般施設有り		なし			0		0
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり			なし					1		1
		小計									11		11
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去20年に1回以上			災害履歴値		なし		A	5	A	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中		小			5		5
		防災計画上の位置づけ	あり			なし					5		5
		小計									15		15
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上			B/C1.0以上1.5未満		B/C1.0未満		A	15	A	15
		早期発現度	5年未満			5年以上10年未満		10年以上			4		4
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	検討あり			検討なし					0		0
		小計									19		19
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	地質が脆弱かつ地すべり地形			地質が脆弱		その他		A	7	A	7
		植生の状況	無林地や倒木が多い			放置林		その他			4		4
		平均渓床勾配	10度以上			2度以上10度未満		2度未満			5		5
		土砂整備率	0%			0%より大50%未満		50%以上			7		7
		小計									23		23
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り		特に要望ない		B	6	B	6	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知			関係者中心に周知		特に周知していない			3		3	
	住民参加の状況	住民が直接参加			住民市町村意見を反映		住民意見反映していない			4		4	
	小計									13		13	
費用対効果(B/C)		1.55		評価の合計				A	81	A	81		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成20年3月31日付で土砂災害警戒区域、特別警戒区域に指定。平成22年7月17日の梅雨前線豪雨により、土石流が発生し人家1件に土砂が流出。											
	地域からの要望経緯	H22.7.17の災害により、地元から要望がある。											
	事業説明等の経緯	H22.7.18 災害発生のため緊急調査および土石流センサー設置の説明実施。地元住民及び中野市に事業対策について説明。											
	環境・景観への配慮項目	工事に伴う地形改変を極力少なくする計画。											
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。											
	特記事項	妙高高原や野尻湖、斑尾高原へのアクセス道である(主)飯山妙高高原線を保全し、広域観光の振興に寄与する											
地域の合意形成		全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他			
部意見	平成22年7月の豪雨により流域内は著しく荒廃し、下流民家及び県道に被害をもたらした。不安定土砂が未だ残っており、再度土砂流出の危険性が高く、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。					政策評価課 意見		重要性が高く、緊急性も認められる。					